

## 市役所本庁舎及び秩父宮記念市民会館建設事業

- No.6 秩父市 -

## 【事業の内容】

現在秩父市では老朽化した市役所本庁舎及び秩父宮記念市民会館の建設工事を行っています。解体した本庁舎跡地に、本庁舎と市民会館を合築し建て替えるものです。

■敷地概要	所在地	秩父市熊木町521番1外地内
	敷地面積	17,480㎡
■建物概要	建築面積	4,096㎡
	延べ面積	9,926㎡
	構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下1階 地上4階建
	用途	庁舎・劇場
■工期	平成26年12月25日～平成28年12月28日	

## 【事業年度】

平成 26 年度～平成 28 年度

## 【予算額(千円)】

平成 28 年度 4, 460, 643千円

## 【財源】

社会資本整備総合交付金（国）、地方債、その他（基金）、一般財源（市）

## 【事業実施に至った背景・経緯】

平成 17 年度に本庁舎及び市民会館の耐震診断調査を実施した結果、耐震対策と大規模な老朽化対策の必要性が示され、対策の検討を進めてきました。

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災で両施設が被災し、応急危険度判定を行ったところ「要注意建物」であるとの診断が下されたことから、市民の安全を考え両施設とも閉鎖といたしました。

その後、両施設の今後の在り方について検討が進められ、平成 23 年 12 月には、市として「本庁舎及び市民会館を現在の本庁舎の位置に合築して建替える」という建設基本方針を策定いたしました。平成 24 年 5 月には「建

設基本構想」を策定し、敷地条件、施設の規模・機能・構造、事業費などの概要をまとめ、同年10月に公募型プロポーザル方式により設計者を選定し、設計業務委託を行いました。基本設計の段階では公募市民によるワークショップや市民会館ホール等利用者団体懇談会を開催し、市民の意見を取り入れた設計をまとめ、現在の建設工事に至っております。

## 【事業のPRポイント】

庁舎とホールを合築することで延べ面積を抑え、建設コストを抑えています。また隣接する既存の歴史文化伝承館との連携・有効利用を図る計画としています。土地の歴史を見守ってきたシンボル樹木となっている既存のケヤキ3本を生かした配置・平面計画とし、庁舎は分かりやすい動線計画とするとともに、市民利用の多い窓口部門を1階に集約し、窓口利用手続きの利便性を高めました。

防災拠点となるため、構造体は耐震性能Ⅰ類を採用し、また非常時に72時間対応可能な非常電源設備を設けております。

1,007席を有する大ホールは、コンサートからバレエ、オペラ、伝統芸能まで幅広い舞台演目に対応し、舞台までの距離を近くするため2層に分け、演者の表情が見える一体感のあるホールとなるよう計画いたしました。

また、ホール、議場、会議室等の内装に秩父産木材を効果的に活用することで、環境に配慮するとともに、ぬくもりの感じられる計画としています。

## 【事業実績・成果・今後の展開】

本事業は、建設市民会議、ホール等利用団体懇談会、市民ワークショップ等多くの市民の参画により進めてまいりました。

平成27年2月に現場着工し、今年度は外構工事を進め年度内の完成を目指します。市民を守る防災拠点、郷土の誇りとなる芸術文化創造拠点としての市役所本庁舎及び秩父宮記念市民会館が、広く市民の皆様に愛される施設となるよう、今後も十分な検討と協議を重ねながら完成まで進めてまいります。

## 【参考資料】



【外観イメージ】



【ホール内観イメージ】

### 〔 連絡先 〕

市役所本庁舎等建設推進室

0494(26)6872(直通)